原子力災害時の避難計画について 荒廃農地防止対策について

曽根正浩

問　県の広域避難計画が示されていないなか、市単独の避難計画策定の考えは

答　原子力災害が発生した場合には、市内全域がPAZに指定されている当市は、市外への避難を余儀なくされるため、広域での避難計画策定が必要であり、国・県・関係市町との連携、協力は不可欠です。市単独で避難計画を策定しても、その実効性は低いものになってしまい、現実的ではないと考えております。

問　茶畑の荒廃地が目立つが、改植への補助金制度は考えられないか

答　農業振興拠点施設に実証圃場が併設されておりますので、生産法人と協働して特定品種の定着実験を行いたいと考えております。また、茶生産農家のご理解とご協力がいただければ、他品目の果樹栽培の実証についても検討してまいりたいと考えております。

問　他種への改植の実証実験は考えられないか

答　茶園から茶園への改植経費や改植後の未収益期間に対する助成制度はありますが、他作物への転換については支援がないのが現状です。耕作放棄地であれば、国・県・市で支援する「耕作放棄地再生事業」を活用することにより、圃場の整備を行うことは可能です。

荒廃化する茶園

27年度予算編成に関して

阿南澄男

問　市内経済活性化について

答　27年度の子育て支援市単独事業については、今後も進めたいと考えます。公共投資は地域経済の活性化にもつながることであります。物品の購入及び建設工事などの入札などに当たっては、市内経済の活性化、地元業者などの育成の視点から可能な限り市内業者への発注に努めるとともに、公共工事などの早期施工に努めてまいります。

問　病院経営について

答　26年度の実質収支の見込みは、損失額が10億円を上回るものと思います。収支改善に向けて、これまでの訪問看護に加え、11月からは訪問診療を開始致しました。

リハビリ部門は、スタッフの増員により365日外来リハビリの実施や訪問リハビリの充実などに取り組むことで、収益向上に大きく寄与するものと考えます。

問　職員の待遇改善について

答　頑張った者が報われるためにも、将来的には昇級や勤勉手当への反映も視野に入れながら研究検討を進めたいと考えます。今後も、必要な職員数を確保できるよう考えます。

第2次御前崎市総合計画策定における前提条件 国の地方創生事業への対応について

齋藤　洋

問　第2次御前崎市総合計画策定の前提条件として、2020年東京オリンピック終了まで浜岡原発再稼働問題を棚上げにしては

答　第2次総合計画策定に当たっては、浜岡原発の再稼働可否よりも、浜岡原発が現状停止していて安全対策工事を最優先に進めている事実を念頭に置いて、慎重に策定してまいります。

問　国の地方創生事業に関連した「まち・ひと・しごと創生法」に関して、市は国に対して何を要望するのか

答　行政・市民・地域が知恵を絞り、アイデアを出し合って、御前崎が将来へ向けて自立して行くには何が必要なのか、何が足りないのか議論を重ね、「まち・ひと・しごと創生法」では市町村の努力義務としての「地域人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」を策定して行きたいと考えます。

問　乾式貯蔵用金属キャスク製造工場の市内誘致や旧御前崎町駿河湾沿い高台へ観光事業のフラッグシップとなるホテル建設の資金を国へ申請したらどうか

答　乾式貯蔵用金属キャスク製造工場の市内誘致は、厳しいものと考えます。ホテル建設の提案も、参考として受け止めさせて頂きます。

公共施設の耐震性について 青少年健全育成事業について

増田雅伸

問　教育委員会が担当する施設の耐震性の現状は

答　市民会館、各地区公民館・防災センターなどは県判定基準の耐震性が優れているとされるIaで、文化会館は耐震性が良いとされるIbです。図書館、記念館等施設はIb以上で、学校の校舎、体育館等その構成する建物はすべてIa、Ibです。

問　非構造部材の対策は

答　公民館に附帯する体育館は26年度調査を実施、27年度設計及び工事の予定です。市民会館、文化会館は27年度調査設計実施、浜岡中学校講堂、格技場は26年度設計、27年度対策工事を実施する予定です。

問　青少年健全育成事業の現状は

答　行政、学校、家庭、地域及び関係機関、団体相互がスクラムを組み取り組んでいます。

また、親子工作教室や小・中連携洋上体験合宿、グッドマナー運動による規範意識の醸成、家庭教育へのサポートなどを実施しています。

小学生海洋体験活動（市教育委員会提供）

問　地域資源を生かした事業の推進は

答　御前崎の海を活用した各種の海洋体験教室やイベントなどを実施しています。地域活性化にも繋がっていますのでこれからも充実を図っていきたいと考えます。

議員視察研修

第9回原子力発電所立地議会サミット

平成26年11月18日～19日

研修会場及び内容

○品川プリンスホテル（東京都港区）

【テーマ】

「エネルギー政策と原子力発電～フクシマ復興の諸課題と立地自治体の振興～」

【基調講演】

「エネルギー基本計画と原子力発電」（講師：経済産業省大臣官房審議官　吉野恭司氏）

【分科会】

・第1分科会「福島原発事故の現状と地域再生」
・第2分科会「原子力発電所の安全対策と防災計画」
・第3分科会「エネルギー安全保障と原子力発電」
・第4分科会「高経年化対策と核燃料サイクル」
・第5分科会「原子力発電所立地自治体の地域振興」

第9回原発サミット開会式

㈱東芝　京浜事業所　視察研修

平成26年11月19日

視察先及び視察内容

○㈱東芝　京浜事業所（神奈川県横浜市）

㈱東芝京浜事業所は、浜岡原子力発電所4号機のフィルタベント設備の製造を行っている工場です。フィルタベントは地中（地下）に設置されるため、設置後は設備の全体を目視することが難しくなります。そのため、製造過程において設備の全体を視察しました。

㈱東芝社員による概要説明